

平成21年度「全国女性会館協議会 北海道・東北ブロック研修」開催要項

1 趣旨・目的

男女共同参画社会基本法施行から10年、男女共同参画関連施設等の各種取組みにより、男女共同参画の理念の浸透については一定の前進が見られたが、必ずしも順調に進んでいない状況も見られる。

北海道・東北地域においても様々な課題があり、地域の男女共同参画推進の拠点である男女共同参画関連施設はその課題解決のための機能の充実・強化が求められている。

そこで、地域における活動の課題を分析、施設職員が認識している問題の共有及びその解決、施設間等のネットワーク構築を推進する場として、北海道・東北ブロック研修を実施する。

2 主 催 特定非営利活動法人全国女性会館協議会、福島県男女共生センター

3 日 程 2009年12月 3日(木) 13:30～16:50

※情報交換会 17:45～19:15

4日(金) 9:00～14:40

4 対 象

①女性関連施設・女性施策担当職員(全国女性協議会会員以外の職員も含む。)

②テーマに関心のある方(3日の講話、基調講演、4日の事例報告については一般参加可。)

※ただし、2日目の相談会は、全国女性協議会会員のみの参加とする。

5 定 員 各日50名(先着順) ※一般参加が可能なプログラムについては100名

6 参加費 無料 ※ただし、宿泊料、情報交換会については参加者負担とする。

7 申込方法 別紙「申込書」に必要事項を記入の上、FAX又はメールで申込みとする。
※併せて、「相談票」の提出も求める。

8 申込締切 2009年11月20日(金)

9 会 場 福島県男女共生センター「女と男の未来館」

〒964-0904 福島県二本松市郭内1-196-1

電話 0243-23-8303 FAX 0243-23-8314 メール: mirai@f-miraikan.or.jp

10 当日プログラム

[1日目] 13:30～16:50

①開会式 13:30～13:40 主催者挨拶 全国女性会館協議会 青木 玲子常任理事

②講 話 13:40～14:40 福島県男女共生センター 館長 下村 満子

演題：「福島県男女共生センター10年の取組 ～ローカル・ナショナル・インターナショナル、そして人間の生き方を考えるセンターへ～」

③基調講演 14:50～16:50

演題：「女性関連施設職員のエンパワーメントと施設機能の成果最大化」

講師：内藤 和美氏 群馬パース大学教授（平成19・20年度公募研究委託事業）

※質疑応答（意見交換・ディスカッション。30分程度）

◎情報交換会 17:45～19:15

[2日目] 9:00～14:40

①施設職員テーマ別相談会の実施 9:00～11:00

②事例報告 11:00～14:00（午前の部 11:00～12:00、午後の部 13:00～14:00）

○事例報告1（11:00～12:00）

テーマ：「農村女性の自立を促進するためのサポートとは」

発表者：高橋 英子氏（福島県男女共同参画審議会委員、平成20年度地域課題研究者）

コーディネーター：栗城 雄一（福島県男女共生センター 企画調査課）

※研究からの提言等、ディスカッション、質疑応答等

（昼食 12:00～13:00）

○事例報告2（13:00～14:00）

テーマ：「第2ステージに向けた情報事業～ライブラリーの新しい試み～」

発表者：青森県男女共同参画センター 三森 久美子氏

「ライブラリーの新しい試み～出かけて行くライブラリー」

コーディネーター：青木 玲子氏（全国女性会館協議会常任理事）

※取組事例発表、ディスカッション、質疑応答

③全国女性会館協議会事業説明（30分程度） 14:00～14:30

青木 玲子氏（全国女性会館協議会常任理事）

④閉会式 14:30～14:40

挨拶 後藤勝雄（福島県男女共生センター副館長）